

# 柿崎マリンホテルハマナスなどの観光施設等に減収補てん4097万円 移動露店出店手数料、新型コロナ対策などで活発な議論

市議会文教経済常任委員会が3日行われました。今号では同委員会審査の様子をお知らせします。

注目したことの1つは、移動露店手数料の改定議案です。高田城址公園観桜会や上越まつりなどの移動露店の手数料を来年1月1日から、これまでの日額1800円以内から日額3000円以内にするという内容ですが、他市との比較、関係者の合意などを確認するとともに、引き上げ時期についても質問が出ました。特に飯塚議長は、「(引き上げの)時期

が違わんじゃないか。新型コロナウィルス感染症が収束してからのいいのではないかと強く主張しました。小田産業観光交流部長は、「時期については協議して、議会に提案していきたい」と答えました。当然です。

もうひとつは新型コロナの影響で苦戦している「くわごり湯」村「柿崎マリンホテルハマナス」など11の観光施設等に対する減収補てんです。今回は指定管理者との協定に基づき、10月～12月まで40

97万円を支援する予算が計上されました。担当課の説明によると、宿泊と宴会施設では、過去3年間と比較して約2割まで売上が落ち込んでいるとのことでした。委員からは、民間の同種施設との比較、各施設の営業努力の必要性などについて質問がありました。



減収補てんと関連で、上野公悦委員長は大湯区の鶴の浜人魚館プールの冬季中止問題を取り上げ、「利用者から大きな不満の声が出て、署名運動も起きた」と指摘し、その後の対応をただしました。施設経営管理室長は、「(関係者からは)

何とかご理解いただいた。ただ、4月以降は必ず再開せよと訴えられ、出来るだけ再開させていただと約束した」とのべていました。

## オスプレイ来るな!

「オスプレイ来るな!」、関山演習場などで行われている日米共同訓練に反対する県民集会所が5日、高田スポーツセンター広場で行われました。主催は、「戦争法廃止!総がかり行動in新潟実行委員会」。上越地域住民を中心に380人ほどの人たちが集まりました。

私は日本共産党上越市議団を代表して連帯の挨拶を行いました。



【ハキダメギク】(再掲)キク科の1年草。漢字で「掃溜菊」と書きます。牧野富太郎博士が掃き溜めでこの花を見つけ命名したとか。背丈は15㍍～60㍍。花期は6月～11月。冬を前にした今も白い花を咲かせています。花言葉は「不屈の精神」。花の名前と違い、素敵ですね。写真は12月6日、吉川区小苗代にて撮影。

## 富山市議会を舞台にしたドキュメンタリー映画・「はりぼて」

高田世界館で映画「はりぼて」を観てきました。この映画は、富山市議会を舞台にした議員報酬引き上げと引き下げの動き、政務活動費をめぐる相次ぐ不正事件とその顛末などを実際の映像を使いながらコミカルに描いたドキュメンタリーです。

上映後、鑑賞者の意見交換会で五百旗頭監督は「だれにでも起こりうる事件だ。議員だけでなく、そのほかの人でも……」などとのべていました。どうあれ、税金の不正使用への監視の目を養う優れた作品だと思います。多くの人に観ていただきたいですね。



はしづめ法一の  
活動レポート

No.19889 2020.12.13

発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
Tel 025-548-3628  
通じないときは 090-5392-1961  
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
URL <http://www.hose1.jp/>



ブログ  
「ホーセの見  
てある記」は  
← こちら

橋爪法一

検索

# 春よ来い

## 第六三六回

### 小春日和

十二月の最初の日曜日は朝から青空が広がりました。ブログを書き終えてから、近くの農道へ行きました。素敵な景色が見られる、そんな予感がしたので。

私が歩く農道は区内の小苗代から下中条につながる道で、幅は約三坪、東南から北西方向に伸びています。そこでは、米山さんの姿がよく見えるのが魅力の一つ。そして、舗装してありませんので、春から冬間近まで様々な野の花と出合うこともできる。それも魅力です。そんなわけで私にとっては最高の散歩道となっています。

この日、散歩を始めたのは午前九時少し前でした。歩き始めてすぐに、背中がポツポツとしてきて、とても気持ち良くなりました。朝日が背中に当たり、暖めてくれるのです。十二月だというのに、陽に当たっただけでこんなに暖まるとは……。お日様の力はすごいですね。

空を見上げると、鳥がはばたいているような形をした薄い雲が何重にもなっており、広がっていました。

背中を暖めてもらいながらゆっくり歩いて二分ほど経つと、米山さんの山の形がよく見えるところに着きます。山頂付近には先日降った雪が残っています。この日は山頂上空に白い雲が少し流れていて、その他は青空、まさに絶景となりました。

農道は一部に緩やかなカーブがあるほかほぼ直線といった感じなのですが、途中から東側と北側へ行く道に分離します。その分離したところを東側に進むと、日当たりの良い場所があります。ひよっとすれば春の花、オオイヌフグリが咲いているかも知れないと思いつきながら、歩くスピードをさらに落とし、花を探し続けました。

探し続けて数分後のことです。もう見つからないだろうと諦めかけていたところで、目の前を何かガッスと移動しました。びっくりしましたね、それはバッタだった

のです。体長は三センチほどで、触角はぴんと伸ばしたまま、右と左の前脚を交互にぐるぐる回しながら動いていました。

それから、野の花だけでなく、昆虫も意識して探しました。思っていた通り、いましたよ。バッタは一匹でしたが、そのほかにも小さなクモが植物の葉の陰に隠れたり、よそに移ったりしていました。さらに、チョウの姿も確認できましたし、赤とんぼ二匹が空中でぶつかり合っている場面にも出合いました。

チョウはその色と模様から見てキタテハだと思えます。越冬中の多くの昆虫たちが姿を見せたのは、暖かい日差しで春になったと勘違いしたのかも知れません。

さて、野の花です。先日、別の農道で出会ったオオイヌフグリの青い花、この散歩道では残念ながら見つけることができませんでした。そのかわり、十二月になっても頑張って咲いている夏場の花をいくつも見つけました。

最初に見つけたのはハルジオンです。花弁は干切れてはいるものの、鮮やかなピンク色でした。その花のそばにはいくつもつぼみがありました。ということは、まだ咲くということですね。すこいですが、まだ咲いたら、残りの花が咲くまで雪には遠慮してもらいたいです。

続いて、赤いイヌタデ、紫色のトキワハゼ、白い花を咲かせたハキダメギクを道端で見つけることが出来ました。それだけじゃありません、アキノキリンソウも一本残っていましたし、紫色のスミレも数か所咲いていました。十一月初旬にもなると、これほどの野の花を見つけたのは初めてです。

小春日和。暖かな陽射しのなかで植物が花を咲かせたり、昆虫が眠りから目を覚ましたり……。人間だっとうきうきするの当たり前です。

## 善長寺の掲示板(2)

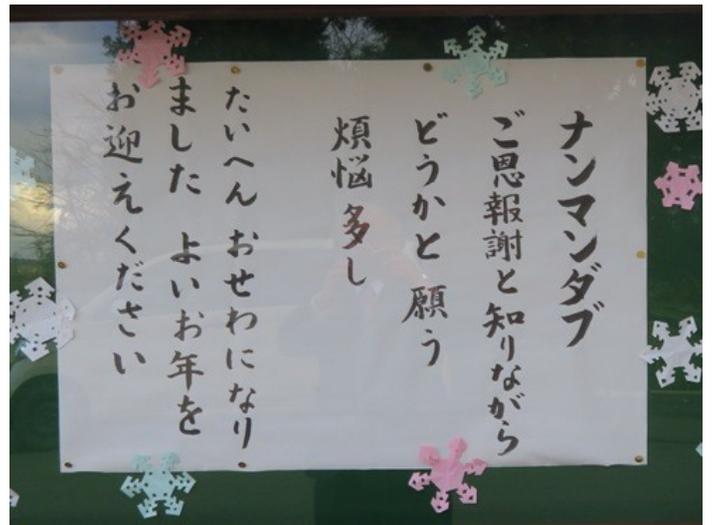
### ニュースフラッシュ

#### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのことです。

	12月2日(水)	12月9日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.047	0.053
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.070	0.060
東頸消防署	0.057	0.053
名立分遣所	0.053	0.053
高士分遣所	0.053	0.050

私の地元、吉川区代石にある浄土真宗本願寺派寺院、善長寺の掲示板がこのほど貼り替えられました。「ご恩報謝と知りながら どうかと願う 煩惱多し」の言葉も文字も前住職のお連れ合いの作とのこと。毎回、楽しみになってきました。



【訂正】前号表面の米価など2つの陳情についての記事で「14日の本会議で正式に採択、不採択が決まる」と書きましたが、委員会で不採択となった陳情は本会議にはかけないのが上越市議会の慣例でした。訂正します。

## 白鳥の池

大湊区の朝日池の白鳥たちです。市道に近いところ集まり、毛づくろいをしたり、羽根をパタパタさせたりしていました。真っ白の姿がいいですね。5日の午後、撮影しました。